

カンタム還元水とスポーツドリンクの波動

‘カンタム還元水132’と‘ルルドの泉の水’は
ほぼ同じの波動と還元電位の**振動する水**です！

- ・**波動とは**人や物質や宇宙などから発される「振動」や「エネルギー」のことです。
- ・**波動の数値**は物質によって様々です。波動が高いとはエネルギーを蓄積する力が大きいという事です。
- ・**スポーツドリンク**は様々なミネラルを含有しています。バナジュウムでいうならば数値17の波動があります。
- ・**カンタム還元水**にはバナジュウムは含んでいませんがバナジュウムと同等の波動を発していますし、その他のミネラル類に値する波動を有していることが分かります。
(カンタム還元水は水道水に約8時間ほどカンタム還元マグシートを浸水すると完成。)

- * **奇跡の水**と言われる‘ルルドの泉’の水には他の水と比べて特殊な成分はありません。むしろ‘六甲の水’が成分的には上だとされています。違うのは波動が21(MR-Aで測定)ということだけです。



また**酸化還元電位は133mV**でカンタム還元水と**ほぼ同じ**です。

＜そこに共通するのは‘振動する水’ということです。＞

＜波動測定結果比較＞

波動コード	カンタム還元水	
	A	B
免疫機能 (2BD6)	17	21
ミネラルバランス (4275)	16	21
バナジュウム (3213)	17	21
鉄 (300B)	13	21
銅 (324B)	12	21
亜鉛 (3059)	16	21
マンガン (3211)	13	21
マグネシウム (304B)	14	21
カルシウム (31C3)	19	21
珪素 (31A9)	19	21

* 波動21が計測の上限数値です。

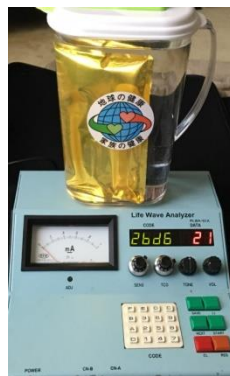
振動水の証明

1ヶ月間、寒天培地に放置しても無菌状態を保ちます。[(財)日本食品分析センターにて証明済]

＜波動測定の比較＞

某社スポーツドリンク

カンタム還元水



H28年8月 波動測定士 綱野明 測定

＜水道水とカンタム還元水の酸化還元電位の比較＞

- * 水道水は大阪市内の市水を使用しました。
- * 処理水はその市水にカンタム還元カマグシートで処理(約8時間浸ける)したものです。



還元電位132mVはルルドの泉の水とほぼ同じ。

＜カンタム還元水の特徴＞

- ・振動する水
- ・132mVの還元水(ルルドの水とほぼ同じ)
- ・波動値が21(ルルドの水と同じ)
- ・健康、予防医療に最適な水。
- ・活性酸素で酸化した細胞を還元。
- ・料理水として最適な水。

＜カンタム還元水の飲み方＞

- ・飲料用と料理水にお使いください。
- ・朝、昼、夜毎日コップ1杯飲む。
- ・薬を飲む水として使用する。
- ・お茶、コーヒーの水出しとして最適。
- ・スポーツドリンクの代わりとして飲む。

＜カンタム還元水のつくり方＞

- ・**カンタム還元カマグシート**を2Lほどの容器に8時間ほど浸してください。(夕方に浸ければ朝にはできます。)
- ・多くの還元水をお使いの場合は別途業務用をお買い求めください。

＜カンタム還元カマグシート＞



本体はフェライト磁石をカンタム還元カマグシートで包み込み、それをゴールドシートで封印したものです。

■通常価格12,800円(税込・送料別)

(社)日本エネルギー応用研究開発機構

HPは「カンタム還元132」で検索してください。